

福岡市水道施設耐震化計画～災害に強い水道を目指して～（概要）



○ 平成7年1月 「兵庫県南部地震」が発生

福岡市水道施設耐震化計画（平成15年3月）

- 平成17年3月 「福岡県西方沖地震（M7.0）」が発生
- 平成19年3月 「警固断層帯の評価」が文部科学省より公表
警固断層帯南東部の地震規模 M7.2
- 平成21年7月 「水道施設耐震工法指針・解説」が改訂

福岡市水道施設耐震化計画～災害に強い水道を目指して～（平成25年3月）

これまで行ってきた水道施設の耐震化も含め、耐震化施策を体系的に整理した。

○ 位置づけと目的

福岡市地域防災計画（風水害対策編・震災対策編）

福岡市水道施設耐震化計画（ハード面の計画）

福岡市水道局災害応急対策計画（ソフト面の計画）

水道施設の耐震化に関する施設整備を効率的・効果的に進めることを目的とした計画

災害時の給水や水道施設の復旧などの応急活動を迅速かつ効率的に行うことを目的とした計画

○ 主な取り組み

水道施設の耐震強化

重要施設である土木構造物（配水池、浄水池、沈澱池、沈砂池）や管路の耐震化を行うことにより、地震時においても飲み水を確保し、断水による被害を最小限に抑えて、ライフラインの確保に引き続き取り組んでいきます。

1. 土木構造物の耐震強化

被災により二次被害が懸念される配水池、浄水池の耐震強化は平成28年度までに、沈澱池、沈砂池については平成32年度までの完了を目指します。

2. 配水管の耐震強化

○耐震ネットワーク工事

地震により多大な被害が予想される地域を耐震化区域と定め、耐震化区域内の避難所や救急告示病院などへの給水ルートを優先的に耐震化する「耐震ネットワーク工事」を引き続き進めていきます。

耐震ネットワーク工事については、平成36年度までに対象施設247箇所への整備の完了を目指します。

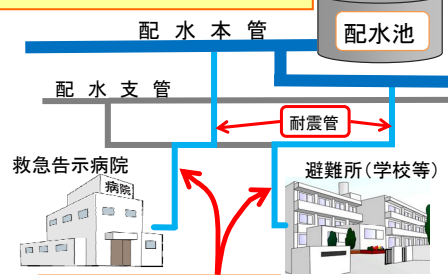
○耐震管への整備

地震に強い配水管網を整備するため、更新・新設にあわせて、耐震管（離脱防止機構付ダクタイル鋳鉄管等）を使用し、順次整備します。

柔軟に追従する耐震管

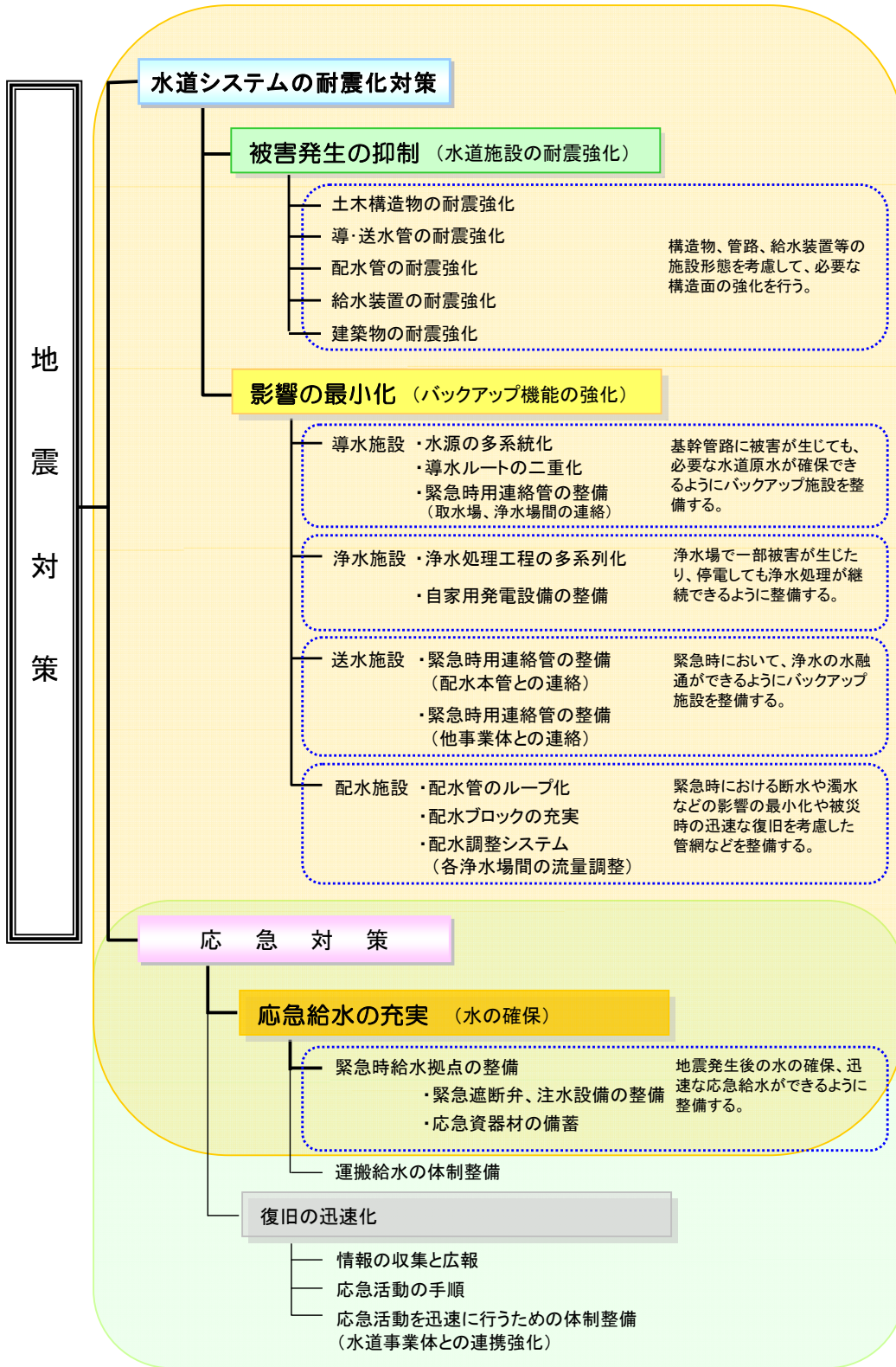


耐震ネットワーク工事 概略図



耐震管で優先的に整備

○ 施策の体系図



「福岡市水道施設耐震化計画」

「福岡市水道局災害応急対策計画」

○ 目標管理

年度	平成23年度末 (実績値)	平成30年度 (目標値)	平成36年度 (見込み)	算定方法
成果指標	浄水施設耐震率	29.1%	50%	耐震性能を有する浄水施設能力 全浄水施設能力 × 100
	配水池耐震率	77.9%	97%	耐震性能を有する配水池容量 配水池総容量 × 100
	耐震ネットワーク整備率	22.7%	63%	給水ルートが耐震化された対象施設数 耐震化区域内の対象施設数 × 100
	配水管耐震化率	50.8%	57%	耐震性能を有する配水管の延長 配水管の総延長 × 100

問い合わせ先

福岡市水道局 計画部 技術管理課

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目28-15

TEL 092-483-3198 FAX 092-483-3252

e-mail: gjjutsukanri.WB@city.fukuoka.lg.jp